

令和 7 年度 鳥羽志摩中学生総合体育大会 剣道の部

1. 日 時 令和 7 年 5 月 1 0 日（土） 予備日 1 1 日（日）

開 場 8 : 0 0

集 合 8 : 3 0

開会式 9 : 1 5

2. 会場及び責任者 鳥羽市武道館

大会長 山下 幸也 （鳥羽東中）

競技責任者・会場責任者 大矢 悠 （鳥羽東中）

救 護 廣川 遥 （答志中）

3. 試合方法

- ・ 個人戦の総当たり戦を行う。3 分 3 本勝負。3 分で勝負が決しない場合は、2 分間の延長戦を行う。それでも勝負が決しない場合は引き分けとする。
- ・ 順位の決定は、勝ち数、本数の順で決める。勝ち数、本数が同じ場合は、直接対決の勝者を上位とする。直接対決が引き分けの場合は、1 本勝負の試合を行い、勝った方を上位とする。

※ 参加人数によって対戦方法を変更する場合がある（当日発表）。

4. 試合規定

- ・ 全日本剣道連盟試合、審判規則ならびに細則に順じ、三重県中体連剣道専門委員会申し合わせ事項に従って行う。

※ 面の乳皮（黒か紺）、つばの色（茶か白）等に気をつけること。

5. 表 彰

- ・ 出場者が 8 人以上は 3 位まで、7 ～ 4 人は 2 位まで、3 人以下は 1 名を表彰する。
- ・ 男子は優勝、女子は優勝者、準優勝者を優秀選手とする。

6. 申し込み

- ・ 出場者の名前、学年、所属を 5 月 7 日（水）までに鳥羽東中学校 大矢まで報告する。

メール jtobahigashi00@toba.ed.jp

電話 0599-26-5001, 5002

FAX 0599-26-5012

7. 県大会への出場について

- ・ 男女各 8 位までの選手が県大会の出場権を得る。

8. 熱中症、災害対策等について

- ・ 鳥羽市営定期船が濃霧や荒天等で運行できない場合は延期（6 : 3 0 頃に決定）とし、1 1 日（日）に実施する。
- ・ 熱中症対策について
 - ① 活動場所の WGBT を定期的に（1 時間に 1 回程度）測定する。

- ② 場内アナウンス等により，参加者へ熱中症の注意喚起を行う。
- ③ 活動場所の WGBT が 31℃ 以上の場合は，一時中断し，中止，延期又は再開することを検討する。
⇒熱中症特別警戒アラートが発動された場合は延期とする。
- ④ 検討後，再開と判断した場合，競技開始時間や実施方法の変更，クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際，選手にとって不利益とならないように注意する。
- ・ 落雷事故防止について
 - ① 大会期間中（試合及び練習やその他に関わる活動を含む）に落雷の予兆があった場合は，速やかに活動を中断し，危険性が無くなると判断されるまで，安全な場所に選手またはその関係者を避難させる等，安全確保を最優先事項として常に留意する。
⇒会場までの道中に気をつける。
 - ※ 落雷の予兆
雷鳴が聞こえる，稲光が見える，急に真っ黒な雲が近づいてくる，急な雨やあられが降ったりする 等
 - ② 大会当日に雷注意報が発表されている場合は，気象庁の「雷ナウキャスト」等で天候情報を確認し，大会を中止するかどうかを判断する。
⇒各自でも，家を出る際に注意する。危険であると判断した場合は，顧問や指導者等に連絡を入れること。
 - ③ 落雷による事故を未然に防ぐために，事前に情報収集しておく。
 - ・ 前日及び当日の天気予報（特に突発的な豪雨や雷雲等）
 - ・ 活動場所と避難場所の位置確認
 - ④ 検討後，再開と判断した場合，競技開始時間や実施方法の変更，クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際，選手にとって不利益とならないように注意する。
- ・ 津波が心配される場合は，大会長の指示のもと，鳥羽東中学校へ避難する。

9. その他

- ・ 開会式後，1 階試合場には関係者以外は入らない。応援はギャラリーで行う。
- ・ ゴミは持ち帰る。
- ・ 竹刀の割れやささくれ，中結や弦の緩みなどないよう各自で整備しておく。
- ※ 竹刀の重さは，男子 440 g，女子 400 g，長さは 37 の竹刀とする。